

3歳児死亡、男を逮捕

警視庁 傷害容疑母の交際相手

東京都大田区大森南3のマンションで虐待されたとみられる男児が死亡した事件で、警視庁大森署は27日、男児の母親の交際相手で暴力団組員、永富直也容疑者(20)を傷害容疑で逮捕した。「彼女の息子を投げ飛ばしたりしてけがをさせた」と

容疑を認めており、今後、傷害致死容疑での立件も視野に捜査する。大森署によると、死亡したのは新井礼人君(3)。礼人君の母親と永富容疑者は昨年6月ごろ、SNS(ソーシャル・ネットワーク)を通じてグ・サービスを通じ

て知り合い、今月8日ごろから3人で暮らしていたという。永富容疑者の逮捕容疑は今月25日午後8時半、同10時ごろ、マンション室内で礼人君に殴る蹴るの暴行を加え、投げ飛ばすなどして重傷を負わせたとしている。

司法解剖の結果によると、死因は外傷性硬膜下血腫とみられる。永富容疑者は「3人で夕食中、俺をにらんだので頭にきてやった」と供述している。

27日に119番を受けて救急隊が到着した時、礼人君は寝悶着姿で布団の上に横たわっていた。両頬や尻に数カ所のおさがあったほか、左耳から出血していた。母親は当初、医師に「滑り台から落ちた」と説明したが、その後の大森署の聴取に対し、永富容疑者が暴行したと認め「止めに入ったが、自分も暴力を振るわれた」と話している。

女性と同居を始めた後、永富容疑者が礼人君を平手打ちするのを複数回目撃していると



新井礼人君「家族のフェイスブックから

いい、大森署が詳しい経緯を調べている。礼人君は26日に水や食事を与えられた時には嘔吐していたという。

大田区役所による区子育て支援課は

「乳幼児の健康診査も欠かさず受診しており、区や児童相談所に虐待の相談や通報はなかった」としている。【山崎征克、神保圭作、深津誠】